

令和5年度 第2次募集 選抜・評価方法

学校番号 1

千葉県立千葉高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	評価者2名による個人面接 検査時間：1名5～10分
(3) 作文	字数：600字以上800字以内 検査時間：60分

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書〔135点満点〕

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3年間の欠席日数の合計が60日以上の場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	〇が1つもない場合は、審議の対象とする。
エ 上記以外の記録、 特記事項及び総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(2) 面接〔8点満点〕

2名の評価者が、4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。aを1点、bを0.5点、cを0.1点とし、2名の評価者の評価（各4点満点）を合計した値（8点満点）を得点とする。いずれかの評価項目においてcがある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望動機	志望の動機が明確で、高校生活に意欲的に取り組もうとしている。
イ 中学校時代の取り組み	中学校時代の取り組みについて、具体的に回答することができる。
ウ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、明快な応答ができる。
エ 態度	礼儀正しい態度で、丁寧な言葉遣いである。

(3) 各高等学校において別に定める検査（作文）〔12点満点〕

2名の評価者が、3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。aを2点、bを1点、cを0点とし、2名の評価者の評価（各6点満点）を合計した値（12点満点）を得点とする。いずれかの評価項目においてcがある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 字数	指定された字数について過不足がない。
イ 言葉・表現	誤字脱字がなく、文章表現や語法が適切である。
ウ 内容	与えられた課題に対して内容及び構成が適切である。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「各高等学校において別に定める検査の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、第2次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

調査書の得点	面接の得点	各高等学校において別に定める 検査の得点	総得点
評定			
135点	8点	12点	155点

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはいしない。

